

◆初日の12日はアコーディオン講座

講師 中村 一氏

アコ暦68年、地元二本松市在住
(体験談より)
その1、まずは思い切って楽譜を捨てよう
その2、知っている簡単な曲から始めよう
その3、「メドレー」にすれば何時間でも楽しめる。



写真は夕食後の二次会の一コマ。青森県以外の東北各県からの参加者、東京、千葉からも参加していてとても賑やかでした。ほろ酔い機嫌でアコーディオンを回し伴奏していたが、皆さん暗譜で弾いていた。まさに「楽譜をすてよ!」の世界でした。夜11時まで、「うたごえ喫茶風二次会」を満喫。

宮城のOB&Qカルテット。70歳代だが高校時代の同級生がアコを中心にバンドを結成。そこにちょっと若い女性が一人加わり、ボーカルも加わるなどとても楽しい演奏でした。



講師 池田 健氏

関東アコ実行委員、アミーゴ所属
(リズムと曲想について)
例えば「4拍子で強、弱、中強、弱」と教わるが、強の位置が変わると曲のイメージが全く変わる。
その強、弱に更にリズム感を出すにはジャバラをどう使うかが重要。



お孫さん二人を加えてアンサンブル。ヴァイオリンは千葉に住む息子さん。曲は「エーデルワイス」おじいちゃんとの合奏も、舞台上立つのも初めてだそうです。福島のおじいちゃんが一番嬉しそうでした。



ゲストのうたごえ「ほなみ」の皆さん。地元二本松で10年以上活動しているうたごえサークル。「津軽平野」「美らうた」の2曲歌いました。彼女達が歌い始めてすぐ、かなり大きな地震がありました。客席がざわついていいる中、誰も動揺することなく平然と歌い上げました。その舞台態度には感銘しました。

第3回
東北アコーディオンジャンボリーに
参加して

2010年6月12日(土):岳温泉あだたらふれあいセンター
13日(日):二本松市勤労者研修センター
原稿、写真提供者:大関 俊雄(ゼンザーズ所属)

◆二日目の13日は演奏交流会



写真はオープニングの様子。アコ・ネット福島の皆さん。曲は「ユー・アー・マイサンシャイン」ヴァイオリン、ベース、その他の楽器も入りとても華やかでした。

写真は山形・南陽市に本田さん地元でうたごえ喫茶を営んでいるとのこと。今は小さな楽器でお客さんの中を縫って演奏しているそうです。「仲間の歌の輪の中でアコ伴奏したい」こんな私の願いのお手本のような方でした。

東京からは「関東アコーディオン演奏交流会有志」の方も参加していた。この中には私達「ゼンザーズ」をサポートをしてくださっている方が三人います。曲は誰でも知っている「山寺の和尚さん」軽快なテンポで見事な演奏を披露し「アンコール」の声も掛かりました。



喜多方市から来た小川光さん。昔、吉祥寺のうたごえ喫茶で伴奏をしていたそうです。現在は、メロンなどを有機栽培している農家。当日も9時まで畑にいたとかで、首にタオル、地下足袋姿で駆けつけた。「アムール河の波」「愛の賛歌」を演奏した。



山形県で活躍している「月のカケラ」さん。若い感性と演奏力が光っていた。3曲演奏したうち「インザムード」は知っている曲でもあり特に素晴らしかった。



こちらも山形から参加した荒井さん。ロシア製のボタン式で、日本に10台くらいしかない楽器だそうです。使い方を知っている人がいないので独学だといっていました。素晴らしい演奏をしてくれました。

